

アル・アクサ洪水第501日目：第二段階は「まだ始まっていない」 | イスラエルがヨルダン川西岸の村を破壊

Palestine Chronicle、2025年2月18日、脇浜義明訳 *脚注は訳注



避難民となったパレスチナ人がガザ北部に帰還。(Photo: via social media, QNN)

主要事項

* イスラエルのギデオン・サール外務大臣は、イスラエルは捕虜交換合意の第二段階の交渉を始めると言ったが、仲介国カタールの外務大臣は交渉がまだ始まっていないと言った。

* イスラエルは占領地西岸地区への攻撃を強化し、ヘブロン近くの村を破壊し、エルサレムの学校を襲った。

最新情報

2月18日 2:04 pm (パレスチナ時間)

* ガザ保健省: 2023年10月7日から続いているイスラエルのガザ攻撃による死亡者の数は48,291人、負傷者の数は111,722人となった。これは新たに殺害された7人の遺体が病院へ運び込まれ、瓦礫の中から掘り起こした遺体6体、先ほどイスラエル兵の銃撃で死亡した人1人、及びこの24時間で負傷した人13人を加えた結果である。

* ジェニン難民キャンプ報道委員会: ジェニン難民キャンプ報道委員会は29日間続いているイスラエル占領軍の攻撃で26人が死亡し、150人が拘留されたと発表した。占領軍は意図的に家屋を燃やし、道路を破壊し、住民の家や所有物を壊して軍が通るための新しい道路を作った。ジェニンとジェニン難民キャンプの3,000人以上の人々が家や所有物を失った。報道委員会は西岸地区の住民に社会的連帯を発揮して難民キャンプから追い出された人々を援助することを呼びかけた。

* ハマス: ハマスは、トゥルカレムやトゥルカレム難民キャンプやヌール・シャムス難民キャンプでイスラエル占領軍が行っている家屋破壊や追い出し犯罪は、パレスチナ人のレジスタンスを挫けさせることはできないと、宣言

した。レジスタンス運動ハマスはレジスタンスを一層強化して占領軍に立ち向かうことが、パレスチナ人に対する犯罪と攻撃を抑える唯一の道だと強調した。

*エジプト外務省：エジプト外務省は、初め2月7日に予定していたパレスチナ問題の新展開に関する緊急アラブ諸国サミットは3月4日に開催変更すると発表した。この変更は、アラブ連盟サミットの議長国バーレーンとの調整やアラブ諸国との相談の結果、施設などの物資的準備をするために決定した。

*アル・ジャジーラ：病人と怪我人の第6次集団が治療を受けるためにラファ検問所を通してエジプトへ入国した。

2月18日 12:47 pm

*カタール外務大臣：カタールは交渉が第二段階へ向かうように全力を注いでいる。外務大臣はガザ停戦合意の第二段階の交渉は公的にはまだ始まっていないことを明らかにしたが、来週に予定されている捕虜交換に関する調整についてはコメントを控えた。

*イスラエルのギデオン・サール外務大臣：サール外務大臣はガザが完全な非武装地帯になったらイスラエルが第二段階の交渉に入ると言った。彼は「ハマスのガザ統治はイスラエルにとって好ましくない」と言い、イスラエルはガザでヒズボラみたいなものの存在を許さないと強く言った。イスラエル政府はハマスからPAへ住民統治の権限を変えることも許さないと、彼は付言した。

*ガザ政府メディア・オフィス：ガザ政府メディア・オフィスは重機がガザに入ってきていないと記者会見で述べた。メディア・オフィスは瓦礫を除去して埋もれた遺体を掘り出すためには重機500台が必要だと強調した。

*パレスチナ・メディア：イスラエル占領軍はエルサレムのアル・ジョス地区にあるUNRWAの学校を襲撃し、生徒を追い出してドアや校門を閉鎖した。また、占領軍はUNRWAと連携しているカランディア難民キャンプ内にあるカランディア職業訓練所を襲った。

*マアリブ：マアリブ紙は20日に予定されている人質4人の遺体の引き渡しはかなり複雑である。4遺体の引き渡しと交換にイスラエルはガザ戦争開始以降逮捕・連行した女性と子どもを釈放する。さらにハマスはその1週間後の木曜日にもう4遺体を引き渡して拘留中のパレスチナ人の釈放を要求すると思われる。

*アル・ジャジーラ：イスラエル占領軍は西岸地区へブロン南のムサフェル・ヤッタ地区のウンム・アル・ハイル村を襲撃した。この村は絶えず強制移住の脅威に晒されていて、またもや軍事侵攻を受けた。

*チャンネル12：ネタニヤフ内閣は16日の閣議で合意の第二段階に関していかなる決定もしなかった。これが意味するのは、イスラエル政府がカイロへ派遣した交渉団には決定権がないということだ。交渉団に指示されたのは22日の人質6人の釈放だけを交渉し、第一段階を長引かせるように努めることである。

*イスラエル・ハヨム：ハヨム紙は、閣議でネタニヤフ首相が、残る人質の解放で戦争を終結するというハマスの要求を拒否したという情報を掲載した。その情報はさらに、米国の圧力で第二段階の交渉に入るかもしれないが、そのときはハマス殲滅という戦争目的に沿う条件を出すと閣議で協議したと伝えた。

*国連報道官ステファン・デュジャリック：国連は、ガザ回廊の学校の95%がイスラエルのジェノサイド戦争で潰されたので、25万人以上の生徒が遠隔地学習プログラムを受けていると発表した。現在生徒たちは厳しい冬の中空地に仮設営したテントの中で勉強している。

*パレスチナ赤三日月社：イスラエル占領軍が西岸地区の町ミサルーンの民家に焼夷弾を撃ち込んだために、少年が大やけどした¹。

*イスラエル・ラジオ：元安全保障大臣のイタマル・ベン・グヴィルは、この機会にイスラエル軍が戦場へ戻って行動するならば、内閣に復帰してもよいと言った。彼はネタニヤフ首相にトランプのガザ・パレスチナ人強制移住計画を実行する勇気を持つと忠告し、政府の法律顧問をクビにしろと勧めた。

*アル・ジャジーラ：イスラエル占領軍は西岸地区ジェニンの南東の町ミサルーンを攻撃し、少年一人が負傷した。

¹ イスラエル軍のパレスチナ人の民家への攻撃が続き、今や火災爆弾を使っている。

* イタマル・ベン・グヴィル：ガザ・パレスチナ人の他国への強制移住とハマスの殲滅を望むなら、簡易移動組み立て住宅や救援物資を積んだトラックのガザ搬入を許すべきではないと、元安全保障大臣のイタマル・ベン・グヴィルが言った。これはイスラエルが人質の遺体の引き渡しと交換に簡易移動組み立て住宅のガザ搬入を許可したというニュースを聞いて言った言葉である。

* 野党指導者ヤイール・ラピッド：野党指導者ヤイール・ラピッドはネタニヤフ内閣の退陣を呼びかけた。彼は政府には国内の問題に対する解決策もないし、ガザに関しても第二段階にぐずぐずして移ることもできないと言った。